

表出性

表出性の定義と測定

感情表現の個人差

- 感情が表に出やすい人と出にくい人の存在
- イベントなど特別な出来事での反応の違い
- 感情表現の程度が人間関係の深さに影響を与える可能性

表出性尺度の目的

- 個人の感情表現の程度を測定
- 感情が外部にどの程度表れているかを評価
- 人間関係構築における感情交流の重要性の認識

表出性の高低による特徴

高い表出性の特徴

- 心の中の感情がそのまま外部に表れる
- 喜びや悲しみなどの感情が明確に表現される
- 周囲に素直で健康的な印象を与える
- 他人と親密になりやすい傾向がある

中程度の表出性の特徴

- 理性的な傾向が強くなる
- 感情表現が少なくなりがち
- 落ち着いた印象を与える
- 会話が情報交換中心になりやすい

低い表出性の特徴

- 感情を表に出すことが苦手
- 周囲から何を考えているかわからないと思われやすい
- 自分の気持ちを説明はするが、感情そのものは表現されない
- 親密な人間関係構築が困難になる可能性がある

表出性の抑制要因

理性的思考の影響

- 理性的思考が強いと感情表現が抑制される
- 心に感情があふれにくくなる結果、表出性が低下

厳しいしつけの影響

- 感情表現を抑制するような厳しいしつけ
- 「男は感情を表すべきでない」などの教育
- 大人になっても感情表現が困難になる可能性

いじめ経験の影響

- いじめられる恐れから感情表現を抑制
- 表出性、開示性、融和性が同じように極端に低下